

## □ KING JIM

デジタル耳せん MM3000



## 取扱説明書

### 【セット内容の確認】

MM3000本体(イヤホン／充電ケース)／イヤピース(XS,S,M,L)／充電ケーブル(USB Type-A/Type-C)／取扱説明書(保証書付)

このたびは、デジタル耳せん MM3000をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は保証書を兼ねています。すぐにお手にできる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

### 【注意事項】

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本製品は防水仕様ではありません。水や液体などで濡らさないでください。
- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の作成には万全を期していますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。
- 本書に記載されていない操作はおこなわないでください。事故や故障の原因になることがあります。

### 【お問い合わせ】

Kingジム、KING JIM、デジタル耳せんは、株式会社キングジムの商標または登録商標です。

4.保証期間内でも、次の場合は有償修理になります。

- (1)使用上の誤りや、お客様による修理または改造による故障および損傷
- (2)お買い上げ後の浸(冠)水、塩害、液体かぶり、落下、衝撃、砂(泥)入り、圧力等による故障および損傷
- (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
- (4)本保証書の提示がない場合
- (5)本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または購入日が証明できるものがない場合
- (6)本体内部部品の消耗、磨耗、損傷

5.同梱付属品、別売品の保証、修理は承っておりません。取扱店にてお買い求めください。

6.保証期間内であるか否かにかかわらず、当社に故意または重大な過失がある場合を除き、お客様が製品を使用することによって発生した直接損害または間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラム、その他の無体財産に関する損害、使用利益、および得べかりし利益の損失等に対して、当社は一切責任を負わず、また当社に故意または重大な過失がある場合には、製品代金を限度額としてのみ、これを賠償する責を負うものとします。

7.本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

8.本保証書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

※本保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従って本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

### アフターサービス

#### 保証書

保証書は販売店・お買い上げ年月日等の記入をお確かめのうえ、販売店よりお受け取りください。保証書と保証規定の内容をよくご覧のうえ、大切に保管してください。

#### 修理に出されるときは

保証期間内は、保証規定に基づいて修理いたします。製品および保証書をお買い上げ販売店までお持ちください。保証期間後も、修理によって使用可能なときは、ご要望により有償で修理いたします。製品をお買い上げ販売店までお持ちください。

なお、当社の都合により代替品に交換することで修理に代えさせていただきます場合がございます。

#### お問い合わせ

アフターサービスについてご不明な点やご相談は、お買い上げ販売店、キングジム製品取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。

フリーダイヤル(全国共通)	ナツクのパートナー	
<b>お客様相談室 ☎0120-79-8107</b>		
FAXからの場合	<b>0120-79-8102</b>	<b>アンケート実施中</b> http://kj-q.com 抽選で謝礼を差し上げます ※PC、スマホ、タブレットのみ対応
携帯電話からの場合	<b>0570-06-4759</b> ※通話料お客様負担	
受付時間: 平日(月～金曜日) 午前9:00～午後5:00		
<b>株式会社キングジム</b> 東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031 https://www.kingjim.co.jp/		

## 安全上のご注意 必ずお守りください!

お使いになる方々や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。本製品をご使用のときは、必ず本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。

表示された指示内容を守らずに、誤った使いかたによって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。

- ⚠ 危険** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高い危害が想定される」内容を示しています。
- ⚠ 警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
- ⚠ 注意** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

- 🚫** してはいけない「禁止」の内容です。
- 🛑** 必ず実行していただきたい「強制」の内容です。

<b>⚠ 危険</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>🚫 高温になる場所(火のそば、ストーブのそば、炎天下)での本製品の使用や充電、放置、保管をしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。</li> <li>🚫 指定の方法以外では充電しないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。</li> <li>🚫 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。破裂・発火・発熱の原因となります。</li> <li>🚫 本製品を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。</li> <li>🚫 同梱の充電ケーブルは本製品専用です。本製品以外の充電には使用しないでください。他の機器を充電しますと、過大電流または過大電圧で充電される場合があります、他の機器のバッテリーを漏液・破裂・発火・発熱させる原因になります。</li></ul>

<b>⚠ 警告</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>🚫 自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しないでください。交通事故の原因となります。</li> <li>🚫 周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など)では使用しないでください。</li> <li>🛑 使用後は充電ケースに収納し、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。イヤホンやイヤピースなどは飲み込むおそれがあります。</li> <li>🚫 本製品を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり火災・感電の原因となります。破損した場合には、使用を中止し、充電ケースにイヤホンを入れず、充電ケースから充電ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</li> <li>🚫 直接日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。また水がかからないようにしてください。</li> <li>🛑 使用中に万一、煙が出る、においがする、異常な音がするなどの異常な状態がみられる場合は、使用を中止してください。充電中であれば充電ケースからイヤホンを外し、充電ケースから充電ケーブルを抜いてください。そのまま使用すると破裂・発火・火災・発熱・発煙の原因となります。</li> <li>🚫 充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電ケースからイヤホンを外し、充電ケースから充電ケーブルを抜いて充電を止めてください。内蔵バッテリーの破裂・発火・発熱の原因となります。</li> <li>🚫 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・破裂・感電の原因となります。</li></ul>

<b>⚠ 注意</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>🛑 肌に異常を感じた場合は、すぐにご使用を中止してください。</li> <li>🛑 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐにご使用を中止してください。</li> <li>🛑 イヤホンを耳から外したときは必ずイヤピースがイヤホンに付いているかご確認ください。イヤピースが耳の中に残り取り出せない場合はすぐに医師の診察を受けてください。</li> <li>🛑 本製品は耳をふさく形状のため、蒸れによりかゆみなどを感じる場合があります。その場合は一旦ご使用を中止してください。</li> <li>🛑 万が一、本製品または本製品の一部分が破損した場合、そのまま使用せずすぐにご使用を中止してください。</li></ul>

### 【充電ケースについて】

充電ケースはイヤホンを充電するための専用ケースです。充電ケーブルを接続し、充電ケーブルの電源ボタンを押すとイヤホンが充電されます。

イヤホンが充電されたら充電ケースの電源ボタンを押すとイヤホンが充電完了し、充電ケースの電源ボタンが点滅を止めます。

- 乾燥した場所では耳にビリビリと刺激を感じる場合があります。これは人体に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- 本製品の近くに発信機(携帯電話など)があるとノイズが入る場合があります。その場合は、離すようにしてください。
- 航空機内で電子機器が使用禁止になっている場合は、本製品を使用しないでください。
- 充電端子が汚れた場合は乾いた綿棒などで掃除してください。汗や水分などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。そのままにしていると接触不良や腐食による故障の原因となる場合があります。また、このときに端子を変形させないでください。

イヤホンが充電されたら充電ケースの電源ボタンを押すとイヤホンが充電完了し、充電ケースの電源ボタンが点滅を止めます。

- バッテリーには寿命があります。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、本体の交換が必要です。劣化したバッテリーを使用し続けると破裂・発火・発熱の原因となります。なお、寿命は使用状態によって異なります。
- バッテリーは消耗品です。バッテリーの充電性能が低下した状態でそのまま使用し続けると、急に電源が切れることがあり、故障などのおそれがあります。
- バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温環境下でお使いになるときは、本製品を冷やさないようにしてください。
- はじめてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、イヤホン、充電ケースともにご使用前に充電してください。
- 周囲の温度が5～35℃の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。
- 充電直後に本製品の温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。
- 長期間使用しない場合は、高温多湿を避けて保管してください。また、バッテリーの劣化を防ぐために3～5 か月に一度充電してください。
- バッテリーは、お客様ご自身で取り外しや交換をおこなわないでください。
- バッテリーの交換は、有償修理で承りますので、お買い上げ販売店、または当社お客様相談室にお問い合わせください。

## お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- **イヤホンについて**  
乾いた布で汚れを拭いてください。特にイヤピース装着部(右図参照)は、イヤピースを通して皮脂などの汚れが付着します。汚れが付着したまま使用すると、イヤピースが外れやすくなります。こまめに汚れを拭いてください。なお、イヤピース装着部先端の開口部は繊細なため、触らないようにしてください。故障の原因になります。

- **イヤピースについて**  
イヤホンからイヤピースを外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は乾いてからご使用ください。

- **充電ケースについて**  
乾いた布で汚れを拭いてください。

## 主な仕様

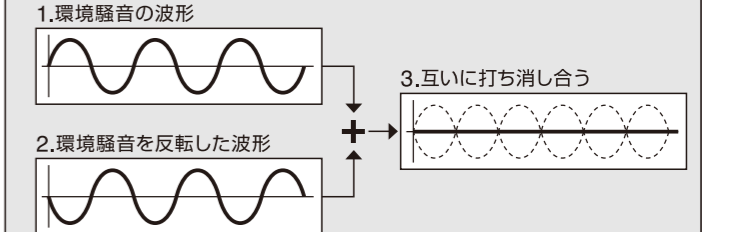
ノイズキャンセリングレベル	：最大-20dB(当社独自の測定法による)
外形寸法	：充電ケース 約79(W)×48(D)×34(H)mm
質量	：イヤホン 約15g(イヤホン左右合計) 充電ケース 約45g
電源	：リチウムイオンポリマーバッテリー
連続使用時間	：イヤホン約12時間 充電ケース込み約40時間(使用条件により変化します)
充電時間	：イヤホン約1.5時間 充電ケース込み約1.5時間(使用条件により変化します)
同梱品	：MM3000(イヤホン／充電ケース) イヤピース(XS,S,M,L) 充電ケーブル(USB Type-A/Type-C) 取扱説明書(保証書付)
動作環境	：温度5～35℃ 湿度30～80%(非結露)
保存環境	：温度-10～55℃ 湿度5～80%(非結露)

別売品のご案内  
USB電源アダプタ AS0510UA  
MM3000に対応するUSB電源アダプタです。同梱の充電ケーブルを接続して本製品を充電できます。

イヤホンが充電されたら充電ケースの電源ボタンを押すとイヤホンが充電完了し、充電ケースの電源ボタンが点滅を止めます。

## 【ノイズキャンセリングの仕組み】

本製品は、イヤホンに内蔵された小型マイクで周囲の環境騒音(乗り物内での騒音やエアコンの空調音など主に300Hz以下の騒音)を收音し、その逆位相の音を出して騒音を打ち消す仕組みになっています。この仕組みによって、乗り物内での騒音やエアコンの空調音などの環境騒音は効果的に低減させますが、人の声やアナウンス等はしっかりと聞き取ることができます。

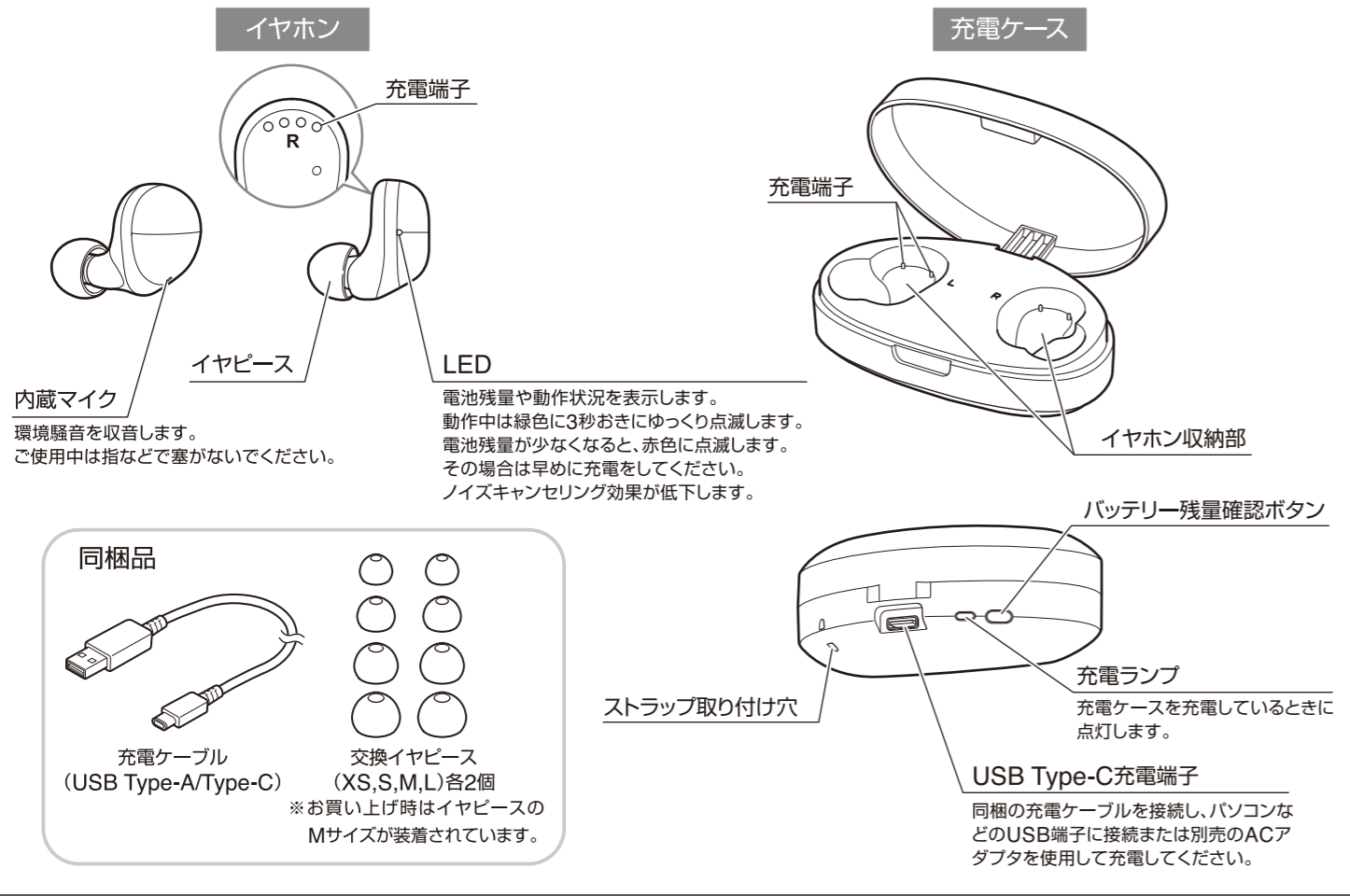


- 1.イヤホンに内蔵された小型マイクで周囲の環境騒音を收音
- 2.本体のノイズキャンセリング回路で逆位相(反転)の音が発生
- 3.2つの波形の合成により、耳元では騒音が打ち消される

※全ての騒音が消えるわけではありません。  
※静かな場所や騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。  
※本製品のノイズキャンセリング機能は主に300Hz以下の騒音を低減させるため、それ以上の周波数成分の多い騒音(電話の着信音、話し声など)や、突発的な音に対しては聞き取ることができます。  
※イヤホンから「サー」という音がかかる場合がありますが、これはノイズキャンセリング機能の動作音で故障ではありません。  
※イヤホンの装着具合によっては、ノイズキャンセリング効果が得られない場合があります。同梱のイヤピースから耳に合っているものを選び、しっかりと耳に装着するようにしてください。  
※マイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリング効果が得られない場合があります。



## 各部の名称と機能



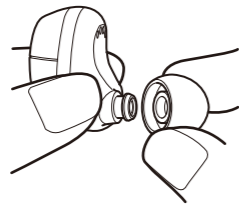
## イヤピースについて

### ● イヤピースのサイズについて

本製品は、4サイズのイヤピースXS、S、M、Lを同梱しており、お買い上げ時はMサイズが装着されています。最大のノイズキャンセリング効果を感じていただくために、耳にあったイヤピースのサイズに換えて、イヤピースを耳の取まりのよい位置に調節してください。イヤピースが耳にうまく装着されていないとノイズキャンセリング効果が実感できないことがあります。

### ● 交換のしかた

イヤピース装着部からイヤピースを外し、別のイヤピースを斜めから押し当てます。(右図参照) 内側を広げるように強く押し込み、奥までしっかり取り付けてください。※イヤピースが外れにくい設計にしているため、取り付けがきつくなっています。



### ⚠ 注意

- イヤピースは汚れが付きやすいため、定期的に取り外しお手入れをしてください。
- イヤピースは消耗品のため、保存や使用により劣化します。嵌合がゆるくなるなどの劣化が見られた場合、イヤピースを交換してください。交換イヤピースに関するご相談は、お買い上げ販売店、キングジム商品取扱店または当社お客様相談室にお問い合わせください。
- 一度外したイヤピースをイヤホンに付ける際は、確実に取り付けられているかを確認してください。イヤピースが耳の中に残ったまま放置すると、けがや病気の原因になります。

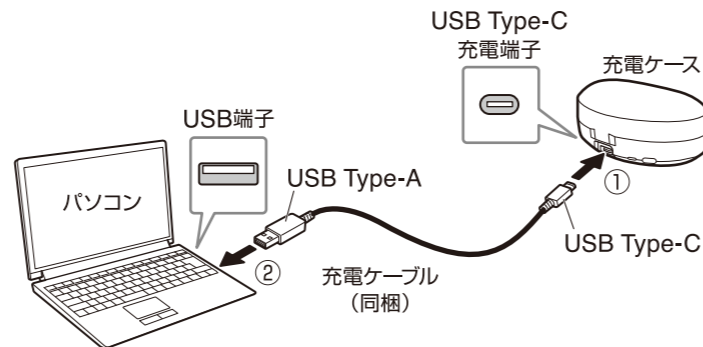
## 充電のしかた

本製品を使用する前に、充電をしてください。

同梱の充電ケーブルで本製品とパソコンなどのUSB端子を接続して充電します。

イヤホンの充電が少なくなると、LEDが赤色に点滅し「ピピッ」という音が鳴り始めます。

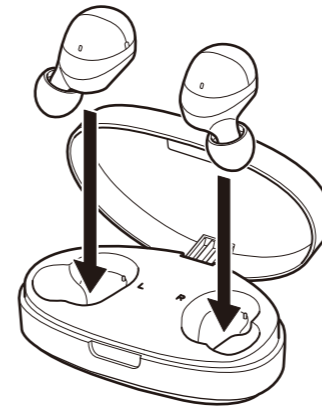
- 1 同梱の充電ケーブルを充電ケースのUSB Type-C充電端子に差し込む
- 2 パソコンなどのUSB端子に充電ケーブルを接続する



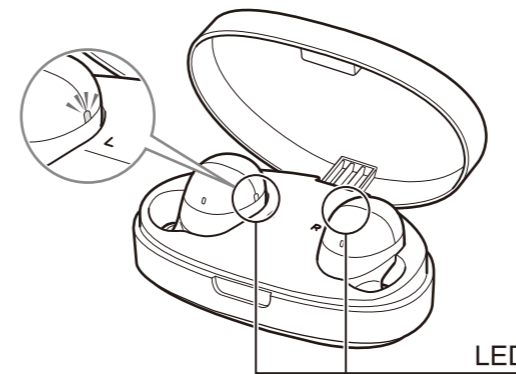
### MEMO

- ・充電中は充電ケースの充電ランプが赤く点灯します。充電が完了すると消灯します(充電ランプの点灯に数秒かかる場合があります)。
- ・バッテリー残量が十分にある場合は、充電ランプが点灯しない場合があります。

## 3 充電ケースにイヤホンを収納する



充電中はイヤホンのLEDが赤色に点灯し、充電が始まります。充電が完了するとLEDが消灯します。



### MEMO

充電ケーブルと指定のUSB電源アダプタを接続し、USB電源アダプタをコンセントに接続して充電することもできます。USB電源アダプタに関する最新の情報は、ホームページにてご確認ください。  
<https://www.kingjim.co.jp/>

## 4 充電が完了したら充電ケーブルを外す

### MEMO

充電ケースのバッテリー残量は、充電ケースにあるバッテリー残量確認ボタンを押すと、充電ケースの充電状態がわかります。50%以上：緑、49~30%：オレンジ、30%未満：赤

## 外出先でイヤホンを充電する

充電ケースには充電電池が内蔵されています。充電ケースを充電しておくと、外出先などで電源がない場合でもイヤホンを充電できます。充電ケースが満充電の場合に約2回の充電が可能です。

イヤホンの充電方法は「充電のしかた」手順3をご参照ください。

### ⚠ 注意

- はじめてご使用になるときは、必ず充電してから使用してください。
- 端子が差し込みにくい場合は、無理に差し込まないでください。破損のおそれがあります。
- 充電が終わったら必ず充電ケーブルを充電ケースから抜いてください。
- 長期間使用しない場合は、高温多湿を避けて保管してください。また、バッテリーの劣化を防ぐために3~5か月に一度充電してください。

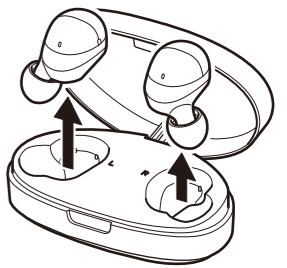
## 使いかた

※本製品を使用する前に、充電をしてください。

### 1 充電ケースからイヤホンを取り出す

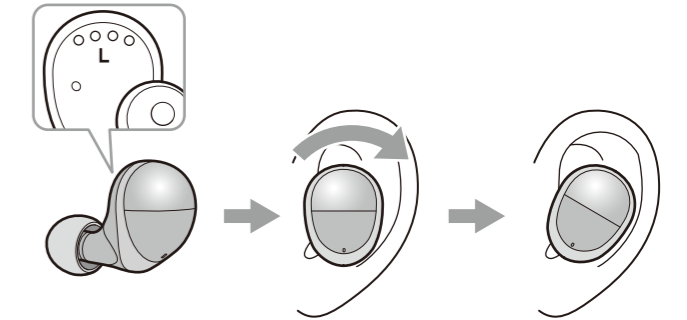
#### MEMO

- ・充電ケースから取り出すとイヤホンのLEDが緑色に早く点滅します。緑色に点滅しない場合は充電が必要です。
- ・イヤホンに電源ボタンはありません。



### 2 両耳に装着する

図のようにイヤホンの「L」の表示側を左耳に、「R」の表示側を右耳に装着します。



#### MEMO

- ・ノイズキャンセリング機能を効果的に得るために、イヤホンを回転させながらイヤピースを耳の奥までしっかりと装着してください。
- ・ノイズキャンセリング機能は充電ケースから取り出し後、約10秒で自動でONになります。イヤホンから一度「ピー」という音が鳴りノイズキャンセリング機能がONになります。
- ・ノイズキャンセリング機能がONになるとイヤホンのLEDが緑色に3秒おきにゆっくり点滅します。

### 3 使用後はゆっくりと耳から取り外し、充電ケースに収納する

#### MEMO

充電ケースに収納することで、自動的にOFFになります。

## 故障かな?と思ったら

### Q1. ノイズキャンセリング効果が感じられない

- A1: イヤホンのLEDが緑色に点滅していることをご確認ください。LEDが赤色に点滅、または消灯している場合はイヤホンを充電ケースに収納し充電してください。
- A2: イヤホンを装着し直してください。イヤホンと耳の位置が良くないと効果が感じられない場合があります。
- A3: 同梱のイヤピースから耳に合っているものを選び、しっかりと耳に装着するようにしてください。
- A4: 周囲の騒音がキャンセリング周波数に合わない場合があります。詳しくは裏面の【ノイズキャンセリングの仕組み】をご参照ください。

### Q2. 「ブーン」、「パタパタ」といった音が聞こえる

A: 近くにある携帯電話やコンピュータ関連機器のノイズを拾っている可能性があります。ノイズを発生させる機器から遠ざけてご使用ください。

### Q3. 電源を入れると「サー」という音がする

A: ノイズキャンセリング機能の動作音です。故障ではありません。

### Q4. 電源が落ちる

A: バッテリー残量が少なくなっている、もしくは完全に放電している可能性があります。バッテリーの充電量が少なくなっている場合は充電してください。

### Q5. バッテリーが充電できない、駆動時間が短くなってきた

A: バッテリー寿命のおそれがあります。バッテリーの交換に関しては、有償修理で承りますので、お買い上げ販売店、または当社お客様相談室にお問い合わせください。

### Q6. 「ピー」という音がする

A: 内蔵マイクを手で覆うなどすると「ピー」という音(ハウリング)がする場合があります。故障ではありません。